大阪城

2020 7/27 (月) 14089 号

全港湾 西成分会

ごんわ 6647-4947

大阪、関西や東京、首都圏で新型コロナウィルスの感染者がふえ続けている。旅行をして経済を回わせ！という「go to トラベル」はゴー、トゥートラブルだ！と裏ではいわれていて、感染を全国に拡大、まき散らしていると批判されている。

そんな中、医療センターが8月には工事が終り12月には新病院での診療を開始するとの回答があった。インフルエンザやノロウィルスなどの感染症に対応できる陰圧病床を4室つくったというが、今、かんじんの新型コロナウィルス感染症では、検査、診療並びに入院は、専門の病院で対応する！といっている。これは、おかしな話で、新病院がこんなことではアカンだろう。コロナの後も新しいウィルスはやってくるし、パンデミック（世界的大流行）は又、おこる地球温暖化時代に突入している。

新病院の活躍を要求していこう！市行政は9月には、市側の釜の崎地域に関する検討内容を報告するという。副市長をトップとした検討プロジェクトチームで考えた内容だという。いろいろと新しく動いているといえるだろう。

全国ホームレス3992人で過去最少

厚労省1月調査

厚生労働省は22日、全国の河川敷や公で暮らすホームレスの人は、1月時点で3992人だったと発表した。前年同月から563人減。2003年の調査開始後で最も少なく、3000人台となったのは初めて。ただ、新型コロナウイルス感染拡大に伴い仕事や住まいを失う人は相次いでおり、今後再び増加に転じる恐れもある。

厚労省は背景について「1月当時は経済状況が好転していた。自治体の支援事業の効果も出たのではないか」と分析した。市区町村の担当者が公園や河川敷、駅などを巡回し、目視で確認した。その場にいなかった人は含まれないため、さらに多い可能性がある。男女別では、男性3688人、女性168人。防寒具を着込むなどして性別が確認できなかった人が136人。都道府県別で見ると、大阪府の1038人が最多。東京都の889人、神奈川県の719人が続いた。青森、秋田、山形、滋賀、鳥取、島根、高知の7県はゼロだった。東京23区と政令指定都市20市の合計は3312人で全体の8割を占めた。　毎日新聞7月24日朝刊

前年と比較すると、減少数が大きい順に東京が237人減、神奈川が180人減、埼玉が39人減となり、首都圏の減少が目立った。時事通信

役所が毎年行う調査で市民団体が行うと倍になると言う話もありますが一定の傾向はわかります。しかし1月以降コロナの襲来で上向き転換しそうです。